

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 運動スタジオHOUKAGO

公表日 2026年 3月 9日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	曜日を変更してもらったりと工夫している。十分なスペースを確保していて、子ども達が運動しやすいよう全体的にフラットに床も体育館と同じ使用している。指定基準より広いスペースを用意している。運動するのにも十分に安全なスペースが確保できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	送迎に際、職員の補充を行い、プログラム中は常に5人以上の職員を配置。基準より多い人数を配置。プログラムを安全に行えるように十分に職員を入れている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	空間を分けているので児童に合った居場所を提供。勉強や座って行う活動ができるゾーン、活発に遊ぶゾーン等ネットで仕切れるようになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	換気を常に行っている。トイレ、手洗いはすぐにできるようペーパーの補充を行っている。静かゾーンと運動ゾーンを分けているため自分で決められる。毎日支援終了後清掃を行っている。プログラムに合わせ強度の高い床になっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	子ども達のトラブルなど、相談室で話をしたり、自由遊びでは、ネットを張り静かなゾーンを作っている。ゾーン分けしているが、落ちつく事が必要な児童は別室で休むことができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎日のミーティングで共有している。毎日支援開始前に職員全員でミーティングを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員同士での情報共有などその都度話し合いを行っている。職員全員で共有し、改善に努めている。アンケートを行い、職員にも内容を共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	朝のミーティングを行い情報の共有を行っている。定期ミーティングで1人ずつ発表している。毎日のミーティングにて支援については職員それぞれの石や考えを確認している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	アンケートや連絡帳などでの評価。外部評価はまだやっていないが、いずれやると思う。	今後実施予定。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	年に2回以上内部研修を行ったり外部での研修を積極的に行っている。年に数回全体ミーティングと外部研修に参加している。虐待防止の研修やBCPのことについてをメインにパート職員も含め定期的に行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	職員同士で今日のプログラムの話し合いを行っている。すべて公表している。それぞれの曜日に合わせたレベルのプログラムを行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	一人ひとりと面談し、課題を含め保護者と一緒に決めている。保護者との面談やアセスメントシートをもちいて行っている。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	日常の会話やミーティングなどで子ども達の話を行い共通理解が行われている。ミーティングで議題に上がるので職員全員で共有し、検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	今日の目標やどの部分を伸ばしていくかを話しあうことができている。共有し、計画にそって支援している。完成後は職員に周知しており、みなが目を通すことが出来るようになってきている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	Hug内で共有	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	している。家族の状況も考慮しトータル的に支援するよう設定されている。運動のプログラムに特化した具体的な支援ないようが設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	常に話し合いを行い、反省会もしている。常勤チームで毎日ちがうプログラムを作っている。プログラムを行う前に職員間でミーティングをしたり安全面の意見を共有したりしてから行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	子ども達に合わせて常に変化させている。毎回ちがうプログラムで体力強化ができる工夫をしている。常に成長していくことができるようにプログラムもレベルアップさせている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別の時間帯も設定している。運動プログラムと共に個別活動、集団活動を組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	チーム全員でミーティングをし、業務にあたっている。職員全体で集まり送迎の注意点や運動についても意見交換も行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	次の日にプログラムの内容や反省点を行い、共有している。終了後に問題点を出し、振り返りを行っている。次の日のミーティングの際にともに行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	保護者にも記録し、共有している。Hugというアプリを使い記録は行っている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的に面談し、目標の再設定をしている。定期的に保護者のご意向もうかがい見直ししている。		
関係機関や保	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	会議などでは、まだ参加はあまりないが、他の関係機関とは連携し、共有を行っている。現場責任者が一緒に立ち会っている。1度参加することがあったが送迎や支援などその児童と一番共に過ごす時間が長いもので出席した。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	協力機関も多いので要望により園などとも協力し、連携した実績あり。児童が通っている保育園なども定期的に様子を共有したりしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	園での担当者会議にも積極的に参加し、情報共有している。4月に開所した為、まだそのような場面はないが積極的に行っていきたい。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	小学校等では、共有はあまり行われていないが、今後行い特に就学前の子達の情報共有は行いたい。先生とも日頃の様子を確認している。	園や学校とも連携している。引き続き情報共有をしていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	0		
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0			

護者との連携	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0		
		(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	まったく行っていない訳ではないが、今後行っていけるようにしていきたい。現状あまりないがセンターの先生とも連携し研修等で交流している。	研修等で交流している。引き続き連携していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	なかなか時間がとれなく、できないことが多いが地域の交流もふまえてできればと思っている。公園での活動もあり、一般の子たちとも一緒に遊ぶこともある。公園等で遊ぶ際は、地域のこども達と一緒に遊ぶ機会を作っている。	今後も公園等で交流していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳を通じて日々の子ども達の様子を伝えることができています。問題や気になることがあれば直接電話で共有している。必要に応じて送迎時や電話、メッセージ機能等を用いて共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	親子療育ではないが、親子でやるプログラムも取り入れたりしている。家族も参加しやすいように親子プログラムの時間などもとり、より近くでふれあえるよう工夫している。	必要なご家庭は、親子プログラムも用意し、児童や家族に合ったプログラムを提供している。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時、面談時には、必ず説明している。契約時にしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	面談を行ったり保護者の考えも聞いている。家族の意見を先行して計画をねっている。面談やアセスメントにて共有している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	Hug内に公開し、意見を求め同意を頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	定期的に個別で面談し、一緒に考えている。送迎時や必要に応じて電話やHugのメッセージ機能にて行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4	まだ、現状難しいこともあるが、兄弟や親子での交流もやれたらと思う。他の事業所と一緒に研修をし保護者も交流している。今は行っていないが今後開催していきたい。	今後運動会など、行事も実施していく予定となる。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	早急に対応している。対応の体制については契約時に周知している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	Hugを利用し報告している。HPやInstagram、Xは使い発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	カギ付き書庫にて保管している。個人情報が含まれる書類についてはカギ付き書庫にて保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	情報はHugを利用し、ミスのないよう徹底している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	近くの公園で地域と交流することもある。今後は、運動会等保護者や地域の方々に開かれたイベントを行いたい。	スタッフ全員でイベントに出店するなど、地域との交流もしている。
非常時	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	社内研修を年2回など行って周知している。定期的に訓練や研修を実施している。定期的に訓練、研修を行っている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	避難訓練を行って、反省を行っている。定期的に訓練や研修も実施している。BCPを全職員に周知し、研修を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	アセスメントにて把握。契約時に確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食物アレルギーの児童はおやつ持参など配慮している。現在そのような対応が必要な児童はいない。	

等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	研修をしている。特に運動プログラムについてはケガや事故のリスクについて事前に確認している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	怪我が発生してしまったときは、保護者に連絡をしたりしている。安全面などリスクは、契約時に細かく説明周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	発生した場合は、報告書を作るよう指導している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修をしている。定期的に研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	契約時、説明済。該当者なし。現在そのような対応が必要な児童はいない。	契約時に説明済。現状はいないが、万が一必要な児童が発生した場合は、再度保護者に説明予定となる。